

問 30. 優先順位について

1. 医師としては、個人の事情より仕事を優先させるべきだ
2. 医師といえども人間なので家庭や趣味などを大切にするのは当然だ

1	2
208 人	683 人

F. 職業性のストレスについてお伺いします

問 31. あなたの仕事についてうかがいます。最もあてはまるものに○を付けてください。

1. そうだ
2. まあそうだ
3. ややちがう
4. ちがう

1 非常にたくさんのお仕事をしなければならない

1	2	3	4
68 人	271 人	47 人	532 人

2 時間内に仕事が処理しきれない

1	2	3	4
320 人	367 人	187 人	44 人

3 一生懸命働かなければならない

1	2	3	4
497 人	368 人	43 人	9 人

4 かなり注意を集中する必要がある

1	2	3	4
604 人	295 人	21 人	2 人

5 高度の知識や技術が必要なむずかしい仕事だ

1	2	3	4
490 人	383 人	45 人	3 人

6 勤務時間中はいつも仕事のことを考えていなければならない

1	2	3	4
334 人	425 人	156 人	6 人

7 からだを大変よく使う仕事だ

1	2	3	4
326 人	383 人	179 人	31 人

8 自分のペースで仕事ができる

1	2	3	4
36人	250人	378人	257人

9 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる

1	2	3	4
70人	409人	316人	127人

10 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる

1	2	3	4
86人	536人	228人	70人

11 自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない

1	2	3	4
19人	74人	447人	379人

12 私の部署内で意見のくい違いがある

1	2	3	4
56人	240人	402人	219人

13 私の部署と他の部署とはうまが合わない

1	2	3	4
25人	134人	454人	303人

14 私の職場の雰囲気は友好的である

1	2	3	4
285人	532人	73人	27人

15 私の職場の作業環境（騒音、照明、温度、換気など）はよくない

1	2	3	4
84人	237人	399人	199人

16 仕事の内容は自分にあっている

1	2	3	4
229人	572人	101人	17人

17 働きがいのある仕事だ

1	2	3	4
350人	487人	71人	14人

5. 診療科毎の集計

本章では、診療科ごとに回答項目の集計を行った。

3-1. 問14

4年前との比較による業務量の変動に関する質問（問14）に関する特徴的な違いは、以下のものである。

- ✓ 当直回数の増加を感じている人が、小児科が多い。
- ✓ 卒後研修の負担が増加していると感じている人が、内科、小児科が多い。
- ✓ 外来患者数が増加していると感じている人が、外科が多い。
- ✓ 院内での待機が増えていると感じている人が、産婦人科が多い。
- ✓ 「インフォームド・コンセント」ならびに「指示や予約」に使われる時間が増えていると感じているのは、産婦人科、外科が多い。

全体としては、産婦人科の医師が業務量の増加を感じているケースが多い。

診療科名と当直回数のクロス表

		C143					合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	
診療科名	度数		4	15	3	1	23
	診療科名の%		17.4%	65.2%	13.0%	4.3%	100.0%
1. 内科系	度数	3	13	67	14	8	105
	診療科名の%	2.9%	12.4%	63.8%	13.3%	7.6%	100.0%
2. 外科系	度数	1	19	71	13	5	109
	診療科名の%	.9%	17.4%	65.1%	11.9%	4.6%	100.0%
3. 産婦人科	度数	2	2	8	1	5	18
	診療科名の%	11.1%	11.1%	44.4%	5.6%	27.8%	100.0%
4. 小児科	度数	1	6	11	6	1	25
	診療科名の%	4.0%	24.0%	44.0%	24.0%	4.0%	100.0%
5. 精神科	度数				1		1
	診療科名の%				100.0%		100.0%
6. 麻酔科	度数		2	10	3		15
	診療科名の%		13.3%	66.7%	20.0%		100.0%
8. 放射線科	度数			9	2		11
	診療科名の%			81.8%	18.2%		100.0%
9. その他	度数	1	3	11		3	18
	診療科名の%	5.6%	16.7%	61.1%		16.7%	100.0%
合計	度数	8	49	202	43	23	325
	診療科名の%	2.5%	15.1%	62.2%	13.2%	7.1%	100.0%

診療科名と外来患者数のクロス表

		C145					合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	
診療科名	度数	2	8	10	2	1	23
	診療科名の%	8.7%	34.8%	43.5%	8.7%	4.3%	100.0%
1. 内科系	度数	9	43	43	15	1	111
	診療科名の%	8.1%	38.7%	38.7%	13.5%	.9%	100.0%
2. 外科系	度数	15	42	38	21	1	117
	診療科名の%	12.8%	35.9%	32.5%	17.9%	.9%	100.0%
3. 産婦人科	度数	2	5	8	2	2	19
	診療科名の%	10.5%	26.3%	42.1%	10.5%	10.5%	100.0%
4. 小児科	度数		9	7	9	1	26
	診療科名の%		34.6%	26.9%	34.6%	3.8%	100.0%
5. 精神科	度数		1				1
	診療科名の%		100.0%				100.0%
6. 麻酔科	度数		5	6			11
	診療科名の%		45.5%	54.5%			100.0%
8. 放射線科	度数	1	3	7		1	12
	診療科名の%	8.3%	25.0%	58.3%		8.3%	100.0%
9. その他	度数	1	5	7	8		21
	診療科名の%	4.8%	23.8%	33.3%	38.1%		100.0%
合計	度数	30	121	126	57	7	341
	診療科名の%	8.8%	35.5%	37.0%	16.7%	2.1%	100.0%

診療科名と卒後研修のクロス表

		C147					合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	
診療科名	度数	1	10	9	3		23
	診療科名の%	4.3%	43.5%	39.1%	13.0%		100.0%
1. 内科系	度数	20	56	28	3		107
	診療科名の%	18.7%	52.3%	26.2%	2.8%		100.0%
2. 外科系	度数	14	47	49	5	1	116
	診療科名の%	12.1%	40.5%	42.2%	4.3%	.9%	100.0%
3. 産婦人科	度数	2	9	6	2		19
	診療科名の%	10.5%	47.4%	31.6%	10.5%		100.0%
4. 小児科	度数	6	15	3	1		25
	診療科名の%	24.0%	60.0%	12.0%	4.0%		100.0%
5. 精神科	度数		1				1
	診療科名の%		100.0%				100.0%
6. 麻酔科	度数	3	6	5			14
	診療科名の%	21.4%	42.9%	35.7%			100.0%
7. 病理	度数	3	2				5
	診療科名の%	60.0%	40.0%				100.0%
8. 放射線科	度数	2	4	8			14
	診療科名の%	14.3%	28.6%	57.1%			100.0%
9. その他	度数	2	10	9			21
	診療科名の%	9.5%	47.6%	42.9%			100.0%
合計	度数	53	160	117	14	1	345
	診療科名の%	15.4%	46.4%	33.9%	4.1%	.3%	100.0%

診療科名と院内での待機 のクロス表

		C1410						
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	34.00	合計
診療科名	度数		4	16	3			23
	診療科名の%		17.4%	69.6%	13.0%			100.0%
1. 内科系	度数	3	16	79	8	1	1	108
	診療科名の%	2.8%	14.8%	73.1%	7.4%	.9%	.9%	100.0%
2. 外科系	度数	7	16	76	13	1		113
	診療科名の%	6.2%	14.2%	67.3%	11.5%	.9%		100.0%
3.産婦人科	度数	3	5	8	1	2		19
	診療科名の%	15.8%	26.3%	42.1%	5.3%	10.5%		100.0%
4.小児科	度数	2	2	19	3			26
	診療科名の%	7.7%	7.7%	73.1%	11.5%			100.0%
5. 精神科	度数			1				1
	診療科名の%			100.0%				100.0%
6. 麻酔科	度数	1	2	10				13
	診療科名の%	7.7%	15.4%	76.9%				100.0%
7. 病理	度数		1	1				2
	診療科名の%		50.0%	50.0%				100.0%
8. 放射線科	度数		3	11				14
	診療科名の%		21.4%	78.6%				100.0%
9. その他	度数		2	17	3			22
	診療科名の%		9.1%	77.3%	13.6%			100.0%
合計	度数	16	51	238	31	4	1	341
	診療科名の%	4.7%	15.0%	69.8%	9.1%	1.2%	.3%	100.0%

診療科名と患者家族への説明 のクロス表

		C1411					
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	合計
診療科名	度数	5	12	8			25
	診療科名の%	20.0%	48.0%	32.0%			100.0%
1. 内科系	度数	24	50	34	2		110
	診療科名の%	21.8%	45.5%	30.9%	1.8%		100.0%
2. 外科系	度数	24	59	25	8	1	117
	診療科名の%	20.5%	50.4%	21.4%	6.8%	.9%	100.0%
3.産婦人科	度数	5	12	2			19
	診療科名の%	26.3%	63.2%	10.5%			100.0%
4.小児科	度数	4	10	12			26
	診療科名の%	15.4%	38.5%	46.2%			100.0%
5. 精神科	度数			1			1
	診療科名の%			100.0%			100.0%
6. 麻酔科	度数	2	8	3			13
	診療科名の%	15.4%	61.5%	23.1%			100.0%
8. 放射線科	度数		7	5			12
	診療科名の%		58.3%	41.7%			100.0%
9. その他	度数	3	7	11		1	22
	診療科名の%	13.6%	31.8%	50.0%		4.5%	100.0%
合計	度数	67	165	101	10	2	345
	診療科名の%	19.4%	47.8%	29.3%	2.9%	.6%	100.0%

診療科名とインフォームドコンセントのクロス表

診療科名		C1412					合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	
	度数	5	12	7			24
	診療科名の%	20.8%	50.0%	29.2%			100.0%
1.内科系	度数	28	45	36	2		111
	診療科名の%	25.2%	40.5%	32.4%	1.8%		100.0%
2.外科系	度数	28	61	21	5	1	116
	診療科名の%	24.1%	52.6%	18.1%	4.3%	.9%	100.0%
3.産婦人科	度数	5	12	2			19
	診療科名の%	26.3%	63.2%	10.5%			100.0%
4.小児科	度数	4	12	10			26
	診療科名の%	15.4%	46.2%	38.5%			100.0%
5.精神科	度数			1			1
	診療科名の%			100.0%			100.0%
6.麻酔科	度数	2	9	3			14
	診療科名の%	14.3%	64.3%	21.4%			100.0%
7.病理	度数			1			1
	診療科名の%			100.0%			100.0%
8.放射線科	度数		8	4			12
	診療科名の%		66.7%	33.3%			100.0%
9.その他	度数	3	7	11	1		22
	診療科名の%	13.6%	31.8%	50.0%	4.5%		100.0%
合計	度数	75	166	96	8	1	346
	診療科名の%	21.7%	48.0%	27.7%	2.3%	.3%	100.0%

3-2. 問15

現状の業務の負担感と改善の余地に関する質問（問15）に関しては、以下のような特徴が見られた。

負担感に関しては、

- ✓ 院内での待機を負担に感じている人が、小児科、産婦人科が多かった。
- ✓ 予約（検査、処置等）を負担に感じている人が、内科、外科が多かった。
- ✓ 紹介状を負担に感じている人が、内科が多かった。
- ✓ 診断書を負担に感じている人が、内科が多かった。
- ✓ 私的保険書類が、産婦人科、外科が多かった。

改善の余地に関しては、

- ✓ 院内での待機を改善できると考えている人が、内科、産婦人科が多かった。
- ✓ 伝票を改善できると考えている人が、外科、内科が多かった。
- ✓ 私的保険書類を改善できると考えている人が、外科が多かった。

診療科名と15-4(院内での待機)のクロス表

診療科名		D15B4			合計
		1.00	2.00	3.00	
	度数	5	18	28	51
	診療科名の%	9.8%	35.3%	54.9%	100.0%
1.内科系	度数	16	97	129	242
	診療科名の%	6.6%	40.1%	53.3%	100.0%
2.外科系	度数	21	100	180	301
	診療科名の%	7.0%	33.2%	59.8%	100.0%
3.産婦人科	度数	8	16	22	46
	診療科名の%	17.4%	34.8%	47.8%	100.0%
4.小児科	度数	4	25	19	48
	診療科名の%	8.3%	52.1%	39.6%	100.0%
5.精神科	度数		1	2	3
	診療科名の%		33.3%	66.7%	100.0%
6.麻酔科	度数	2	14	25	41
	診療科名の%	4.9%	34.1%	61.0%	100.0%
7.病理	度数	1		3	4
	診療科名の%	25.0%		75.0%	100.0%
8.放射線科	度数	1	10	15	26
	診療科名の%	3.8%	38.5%	57.7%	100.0%
9.その他	度数	2	17	67	86
	診療科名の%	2.3%	19.8%	77.9%	100.0%
合計	度数	60	298	490	848
	診療科名の%	7.1%	35.1%	57.8%	100.0%

診療科名と15-8(予約)のクロス表

診療科名		D15B8			合計
		1.00	2.00	3.00	
	度数	6	23	24	53
	診療科名の%	11.3%	43.4%	45.3%	100.0%
1.内科系	度数	30	119	98	247
	診療科名の%	12.1%	48.2%	39.7%	100.0%
2.外科系	度数	47	134	121	302
	診療科名の%	15.6%	44.4%	40.1%	100.0%
3.産婦人科	度数	3	24	18	45
	診療科名の%	6.7%	53.3%	40.0%	100.0%
4.小児科	度数	3	15	32	50
	診療科名の%	6.0%	30.0%	64.0%	100.0%
5.精神科	度数			3	3
	診療科名の%			100.0%	100.0%
6.麻酔科	度数		8	31	39
	診療科名の%		20.5%	79.5%	100.0%
8.放射線科	度数	1	10	15	26
	診療科名の%	3.8%	38.5%	57.7%	100.0%
9.その他	度数	8	23	54	85
	診療科名の%	9.4%	27.1%	63.5%	100.0%
合計	度数	98	356	396	850
	診療科名の%	11.5%	41.9%	46.6%	100.0%

診療科名と紹介状のクロス表

診療科名		D15B11			合計
		1.00	2.00	3.00	
	度数	4	29	20	53
	診療科名の%	7.5%	54.7%	37.7%	100.0%
1. 内科系	度数	43	133	75	251
	診療科名の%	17.1%	53.0%	29.9%	100.0%
2. 外科系	度数	42	142	120	304
	診療科名の%	13.8%	46.7%	39.5%	100.0%
3. 産婦人科	度数	4	30	12	46
	診療科名の%	8.7%	65.2%	26.1%	100.0%
4. 小児科	度数		21	29	50
	診療科名の%		42.0%	58.0%	100.0%
5. 精神科	度数	1		2	3
	診療科名の%	33.3%		66.7%	100.0%
6. 麻酔科	度数	1	7	26	34
	診療科名の%	2.9%	20.6%	76.5%	100.0%
8. 放射線科	度数	1	15	10	26
	診療科名の%	3.8%	57.7%	38.5%	100.0%
9. その他	度数	9	27	47	83
	診療科名の%	10.8%	32.5%	56.6%	100.0%
合計	度数	105	404	341	850
	診療科名の%	12.4%	47.5%	40.1%	100.0%

診療科名と15-12(診断書)のクロス表

診療科名		D15B12			合計
		1.00	2.00	3.00	
	度数	10	24	18	52
	診療科名の%	19.2%	46.2%	34.6%	100.0%
1. 内科系	度数	52	122	76	250
	診療科名の%	20.8%	48.8%	30.4%	100.0%
2. 外科系	度数	67	129	106	302
	診療科名の%	22.2%	42.7%	35.1%	100.0%
3. 産婦人科	度数	8	26	12	46
	診療科名の%	17.4%	56.5%	26.1%	100.0%
4. 小児科	度数	2	17	31	50
	診療科名の%	4.0%	34.0%	62.0%	100.0%
5. 精神科	度数	1		2	3
	診療科名の%	33.3%		66.7%	100.0%
6. 麻酔科	度数		4	30	34
	診療科名の%		11.8%	88.2%	100.0%
7. 病理	度数		1		1
	診療科名の%		100.0%		100.0%
8. 放射線科	度数	2	10	13	25
	診療科名の%	8.0%	40.0%	52.0%	100.0%
9. その他	度数	7	30	45	82
	診療科名の%	8.5%	36.6%	54.9%	100.0%
合計	度数	149	363	333	845
	診療科名の%	17.6%	43.0%	39.4%	100.0%

診療科名と私的保険書類のクロス表

診療科名		D15B14			合計
		1.00	2.00	3.00	
	度数	12	28	12	52
	診療科名の%	23.1%	53.8%	23.1%	100.0%
1. 内科系	度数	70	126	50	246
	診療科名の%	28.5%	51.2%	20.3%	100.0%
2. 外科系	度数	99	132	69	300
	診療科名の%	33.0%	44.0%	23.0%	100.0%
3. 産婦人科	度数	16	20	9	45
	診療科名の%	35.6%	44.4%	20.0%	100.0%
4. 小児科	度数	5	21	24	50
	診療科名の%	10.0%	42.0%	48.0%	100.0%
5. 精神科	度数	1		2	3
	診療科名の%	33.3%		66.7%	100.0%
6. 麻酔科	度数		5	29	34
	診療科名の%		14.7%	85.3%	100.0%
8. 放射線科	度数	2	8	15	25
	診療科名の%	8.0%	32.0%	60.0%	100.0%
9. その他	度数	14	30	36	80
	診療科名の%	17.5%	37.5%	45.0%	100.0%
合計	度数	219	370	246	835
	診療科名の%	26.2%	44.3%	29.5%	100.0%

3-3. 問16

業務の代替可能性に関する質問（問16）に関しては、以下のような特徴があった。

✓ 診断書の作成と私的保険書類の作成業務の代替可能性は、外科で高い

診療科毎の差は大きくはないが、全体的に見ると、外科、産婦人科で業務を委譲してもいいと考えている人が多い。

診療科名と診断書のクロス表

		D16.12			合計
		1.00	2.00	12.00	
診療科名	度数	42	14		56
	診療科名の%	75.0%	25.0%		100.0%
1. 内科系	度数	196	79		275
	診療科名の%	71.3%	28.7%		100.0%
2. 外科系	度数	183	127	1	311
	診療科名の%	58.8%	40.8%	.3%	100.0%
3. 産婦人科	度数	29	17		46
	診療科名の%	63.0%	37.0%		100.0%
4. 小児科	度数	46	7		53
	診療科名の%	86.8%	13.2%		100.0%
5. 精神科	度数	3			3
	診療科名の%	100.0%			100.0%
6. 麻酔科	度数	29	8		37
	診療科名の%	78.4%	21.6%		100.0%
7. 病理	度数	3			3
	診療科名の%	100.0%			100.0%
8. 放射線科	度数	18	9		27
	診療科名の%	66.7%	33.3%		100.0%
9. その他	度数	66	21		87
	診療科名の%	75.9%	24.1%		100.0%
合計	度数	615	282	1	898
	診療科名の%	68.5%	31.4%	.1%	100.0%

3-4. その他の質問項目

問 17. 「現在、あなたが携わる業務のうち、およそ何%が医師の業務ではないと思いますか？」という質問に関しては、外科、産婦人科医が医師の業務ではない仕事の割合が多いと考えている人が多い。

診療科名とQ17のクロス表

		Q17						合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	
診療科名	度数	1	4	9	27	13	3	57
	診療科名の%	1.8%	7.0%	15.8%	47.4%	22.8%	5.3%	100.0%
1. 内科系	度数	8	18	51	111	79	12	279
	診療科名の%	2.9%	6.5%	18.3%	39.8%	28.3%	4.3%	100.0%
2. 外科系	度数	7	14	45	123	101	26	316
	診療科名の%	2.2%	4.4%	14.2%	38.9%	32.0%	8.2%	100.0%
3. 産婦人科	度数	1	4	7	17	11	4	44
	診療科名の%	2.3%	9.1%	15.9%	38.6%	25.0%	9.1%	100.0%
4. 小児科	度数	5	8	7	24	6	3	53
	診療科名の%	9.4%	15.1%	13.2%	45.3%	11.3%	5.7%	100.0%
5. 精神科	度数		1	1	1			3
	診療科名の%		33.3%	33.3%	33.3%			100.0%
6. 麻酔科	度数	3	2	18	11	8		42
	診療科名の%	7.1%	4.8%	42.9%	26.2%	19.0%		100.0%
7. 病理	度数	2			2	3		7
	診療科名の%	28.6%			28.6%	42.9%		100.0%
8. 放射線科	度数	3	3	3	10	8		27
	診療科名の%	11.1%	11.1%	11.1%	37.0%	29.6%		100.0%
9. その他	度数	6	10	19	29	23	2	89
	診療科名の%	6.7%	11.2%	21.3%	32.6%	25.8%	2.2%	100.0%
合計	度数	36	64	160	355	252	50	917
	診療科名の%	3.9%	7.0%	17.4%	38.7%	27.5%	5.5%	100.0%

問 19「医師の業務量に関する質問」では、全体的に増加傾向であることが分かるが、外科が診療以外の部分で業務量が増加していると考えている人の割合が多い。

診療科名と Q19 のクロス表

診療科名		Q19				合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	
	度数	11	12	2	31	56
	診療科名の%	19.6%	21.4%	3.6%	55.4%	100.0%
1. 内科系	度数	16	67	18	179	280
	診療科名の%	5.7%	23.9%	6.4%	63.9%	100.0%
2. 外科系	度数	10	108	10	191	319
	診療科名の%	3.1%	33.9%	3.1%	59.9%	100.0%
3. 産婦人科	度数	3	10	3	29	45
	診療科名の%	6.7%	22.2%	6.7%	64.4%	100.0%
4. 小児科	度数	7	24	4	18	53
	診療科名の%	13.2%	45.3%	7.5%	34.0%	100.0%
5. 精神科	度数	1			2	3
	診療科名の%	33.3%			66.7%	100.0%
6. 麻酔科	度数	4	17	5	17	43
	診療科名の%	9.3%	39.5%	11.6%	39.5%	100.0%
7. 病理	度数		5		2	7
	診療科名の%		71.4%		28.6%	100.0%
8. 放射線科	度数		1	4	20	25
	診療科名の%		4.0%	16.0%	80.0%	100.0%
9. その他	度数	16	27	1	43	87
	診療科名の%	18.4%	31.0%	1.1%	49.4%	100.0%
合計	度数	68	271	47	532	918
	診療科名の%	7.4%	29.5%	5.1%	58.0%	100.0%

看護師の業務量に関する質問では、小児科が高い数字になっている。

診療科名と Q24 のクロス表

診療科名		Q24			合計
		1.00	2.00	3.00	
	度数	32	20	4	56
	診療科名の%	57.1%	35.7%	7.1%	100.0%
1. 内科系	度数	194	60	24	278
	診療科名の%	69.8%	21.6%	8.6%	100.0%
2. 外科系	度数	215	77	24	316
	診療科名の%	68.0%	24.4%	7.6%	100.0%
3. 産婦人科	度数	33	11	1	45
	診療科名の%	73.3%	24.4%	2.2%	100.0%
4. 小児科	度数	43	8	1	52
	診療科名の%	82.7%	15.4%	1.9%	100.0%
5. 精神科	度数	1	2		3
	診療科名の%	33.3%	66.7%		100.0%
6. 麻酔科	度数	29	12		41
	診療科名の%	70.7%	29.3%		100.0%
7. 病理	度数	5	2		7
	診療科名の%	71.4%	28.6%		100.0%
8. 放射線科	度数	15	11	1	27
	診療科名の%	55.6%	40.7%	3.7%	100.0%
9. その他	度数	54	30	4	88
	診療科名の%	61.4%	34.1%	4.5%	100.0%
合計	度数	621	233	59	913
	診療科名の%	68.0%	25.5%	6.5%	100.0%

小児科、産婦人科は負担増を感じている部署であるが、自らの業務を他職種に委譲することに関しては、比較的慎重である（問 26）。

診療科名とQ26のクロス表

診療科名		Q26			合計
		1.00	2.00	12.00	
診療科名	度数	38	15		53
	診療科名の%	71.7%	28.3%		100.0%
1. 内科系	度数	199	70		269
	診療科名の%	74.0%	26.0%		100.0%
2. 外科系	度数	227	81		308
	診療科名の%	73.7%	26.3%		100.0%
3. 産婦人科	度数	25	21		46
	診療科名の%	54.3%	45.7%		100.0%
4. 小児科	度数	26	24		50
	診療科名の%	52.0%	48.0%		100.0%
5. 精神科	度数	2	1		3
	診療科名の%	66.7%	33.3%		100.0%
6. 麻酔科	度数	18	19	1	38
	診療科名の%	47.4%	50.0%	2.6%	100.0%
7. 病理	度数	3	4		7
	診療科名の%	42.9%	57.1%		100.0%
8. 放射線科	度数	20	6		26
	診療科名の%	76.9%	23.1%		100.0%
9. その他	度数	54	34		88
	診療科名の%	61.4%	38.6%		100.0%
合計	度数	612	275	1	888
	診療科名の%	68.9%	31.0%	.1%	100.0%

負担が増えている原因は、外科、産婦人科と内科は大きな差はないが、一方が高いと他方がそれほどでもないという風に逆になる傾向がある。

6. 役職毎の集計

本章では、役職ごとに回答項目の集計を行った。

4-1. 問14

4年前との比較による業務量の変動に関する質問（問14）に関する特徴的な違いは、以下のものである。

- ✓ 会議の回数が増加していると感じている人が、管理職医師（医長以上）と院長・副院長で多い。
- ✓ ほとんどの質問に関して、管理職医師が業務が増加していると感じている人が多い。

役職と会議のクロス表

		C148						
		1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	12.00	合計
役職	2.後期研修医	度数		1				1
		役職の%		100.0%				100.0%
3.管理職以外のスタッフ医師	度数	7	17	15	1			40
	役職の%	17.5%	42.5%	37.5%	2.5%			100.0%
4.院長副院長以外の管理職	度数	83	118	52	7	1	1	262
	役職の%	31.7%	45.0%	19.8%	2.7%	.4%	.4%	100.0%
5.院長・副院長	度数	25	20	5	1			51
	役職の%	49.0%	39.2%	9.8%	2.0%			100.0%
6.その他	度数				1	1		2
	役職の%				50.0%	50.0%		100.0%
記入なし	度数	1	1	1				3
	役職の%	33.3%	33.3%	33.3%				100.0%
合計	度数	116	156	74	10	2	1	359
	役職の%	32.3%	43.5%	20.6%	2.8%	.6%	.3%	100.0%

4-2. 問15

現状の業務の負担感と改善の余地に関する質問（問15）に関しては、以下のような特徴が見られた。

負担感に関しては、

- ✓ 教育を負担に感じている人が、管理職医師で多かった。
- ✓ 全体的に、初期臨床研修医の負担感は低い。
- ✓ 全体的に、後期研修医の負担感は高い。

改善の余地に関しては、

- ✓ 会議の改善の余地があると考えている人は、管理職医師、院長副院長が多い。
- ✓ 初期臨床研修医、後期研修医とも全体的に改善の余地があると考えている人は少ない。しかし、DPC書類、紹介状、私的保険書類などの書類関係の業務に関しては、改善の余地があると考えている後期研修医が多い。

4-3. 問16

業務の代替可能性に関する質問（問16）に関しては、以下のような特徴があった。

- ✓ 院内での待機に関しては、代替可能性を肯定するスタッフ医師以下の若手医師が多かった。
- ✓ 全体的に、管理職医師、院長副院長などで代替可能性を肯定する意見が多い。

役職と院内での待機 のクロス表

役職		D16.4		合計
		1.00	2.00	
1.初期臨床研修医	度数	37	13	50
	役職の%	74.0%	26.0%	100.0%
2.後期研修医	度数	19	6	25
	役職の%	76.0%	24.0%	100.0%
3.管理職以外のスタッフ医師	度数	185	44	229
	役職の%	80.8%	19.2%	100.0%
4. 院長副院長以外の管理職	度数	415	64	479
	役職の%	86.6%	13.4%	100.0%
5.院長・副院長	度数	52	7	59
	役職の%	88.1%	11.9%	100.0%
6.その他	度数	7		7
	役職の%	100.0%		100.0%
記入なし	度数	6		6
	役職の%	100.0%		100.0%
合計	度数	721	134	855
	役職の%	84.3%	15.7%	100.0%

4-4 その他の質問

医師の業務量（質問 19）に関しては、後期研修医と管理職医師が負担増を感じている。

役職と医師の業務量 のクロス表

役職		Q19				合計
		1.00	2.00	3.00	4.00	
1.初期臨床研修医	度数	12	20	2	14	48
	役職の%	25.0%	41.7%	4.2%	29.2%	100.0%
2.後期研修医	度数	2	5	4	17	28
	役職の%	7.1%	17.9%	14.3%	60.7%	100.0%
3.管理職以外のスタッフ医師	度数	21	69	19	144	253
	役職の%	8.3%	27.3%	7.5%	56.9%	100.0%
4. 院長副院長以外の管理職	度数	26	148	19	315	508
	役職の%	5.1%	29.1%	3.7%	62.0%	100.0%
5.院長・副院長	度数	3	24	2	34	63
	役職の%	4.8%	38.1%	3.2%	54.0%	100.0%
6.その他	度数	3	2		3	8
	役職の%	37.5%	25.0%		37.5%	100.0%
記入なし	度数	1	3	1	5	10
	役職の%	10.0%	30.0%	10.0%	50.0%	100.0%
合計	度数	68	271	47	532	918
	役職の%	7.4%	29.5%	5.1%	58.0%	100.0%

他職種への業務の委譲に関しては、役職ごとの差異はそれほど大きくない。院長副院長は必要と考えている人がほとんどである。

役職と業務の委譲のクロス表

		Q26			合計	
		1.00	2.00	12.00		
役職	1.初期臨床研修医	度数	38	13	51	
		役職の%	74.5%	25.5%	100.0%	
	2.後期研修医	度数	19	8	27	
		役職の%	70.4%	29.6%	100.0%	
	3.管理職以外のスタッフ医師	度数	157	85	242	
		役職の%	64.9%	35.1%	100.0%	
	4.院長副院長以外の管理職	度数	330	157	487	
		役職の%	67.8%	32.2%	100.0%	
	5.院長・副院長	度数	55	7	1	63
		役職の%	87.3%	11.1%	1.6%	100.0%
	6.その他	度数	6	2	8	
		役職の%	75.0%	25.0%	100.0%	
	記入なし	度数	7	3	10	
		役職の%	70.0%	30.0%	100.0%	
合計		度数	612	275	1	888
		役職の%	68.9%	31.0%	.1%	100.0%

役職と優先順位に関しては、若い世代で自分の生活を大事にする傾向が確認された。

役職と優先順位のクロス表

		Q30			合計	
		1.00	2.00	12.00		
役職	1.初期臨床研修医	度数	6	46	1	53
		役職の%	11.3%	86.8%	1.9%	100.0%
	2.後期研修医	度数	3	24		27
		役職の%	11.1%	88.9%		100.0%
	3.管理職以外のスタッフ医師	度数	31	213	2	246
		役職の%	12.6%	86.6%	.8%	100.0%
	4.院長副院長以外の管理職	度数	130	358	12	500
		役職の%	26.0%	71.6%	2.4%	100.0%
	5.院長・副院長	度数	35	27	1	63
		役職の%	55.6%	42.9%	1.6%	100.0%
	6.その他	度数		8		8
		役職の%		100.0%		100.0%
	記入なし	度数	3	7		10
		役職の%	30.0%	70.0%		100.0%
合計		度数	208	683	16	907
		役職の%	22.9%	75.3%	1.8%	100.0%

7. 病院による分類

ここでは、病院による分類を試みた。各病院を、

- ・ DPC の導入
- ・ 7 対 1 看護の導入
- ・ 臨床研修病院
- ・ 医療訴訟の有無
- ・ IT 導入

で分類した。また、医師労働の軽減策として、以下のような施策を行ったか否かでも分類を行った。

- ・ 病棟クラーク

- ・ 医師定員数の増加
- ・ タイムシェアリングの導入
- ・ 研修制度
- ・ インフォームド・コンセント業務の軽減
- ・ ITによる労働軽減

さらに、病床規模（300床以下=1、300～500床=2、500床以上=3）と医師一人当たり退院患者数（100人以下=1、100～125人=2、125～150人=3、150人以上=4）によって分類した。これらの分類ごとの関係は、下図のようになっている。

Correlations *

Spearman's rho	DPC	7対1看護	臨床研修病院	訴訟	IT導入	病棟クラーク	医師増	TIMESHAR	研修制度	IC軽減	IT軽減
DPC	1.000	.216**	.486**	.149**	.328**	.087*	.234**	.201**	.008	-.148**	.239**
	Correlation Coefficient	.000	.000	.000	.000	.013	.000	.000	.821	.000	.000
	Sig. (2-tailed)										
7対1看護	.216**	1.000	.069*	.298**	-.060	-.436**	-.147**	.280**	-.475**	-.229**	-.180**
	Correlation Coefficient	.000	.050	.000	.085	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	Sig. (2-tailed)										
臨床研修病院	.486**	.069*	1.000	.068	.301**	.073*	.287**	-.044	.317**	.192**	.189**
	Correlation Coefficient	.000	.050	.000	.050	.000	.037	.000	.205	.000	.000
	Sig. (2-tailed)										
訴訟	.149**	.298**	.068	1.000	-.089**	-.229**	.024	-.400**	-.394**	-.156**	-.477**
	Correlation Coefficient	.000	.000	.050	.011	.000	.497	.000	.000	.000	.000
	Sig. (2-tailed)										
IT導入	.328**	-.060	.301**	-.089**	1.000	.575**	-.017	-.040	.014	-.258**	.538**
	Correlation Coefficient	.000	.085	.000	.011	.000	.631	.000	.248	.691	.000
	Sig. (2-tailed)										
病棟クラーク	.087*	-.436**	.073*	-.229**	.575**	1.000	.287**	-.053	.300**	.064	.693**
	Correlation Coefficient	.013	.000	.037	.000	.000	.000	.131	.000	.067	.000
	Sig. (2-tailed)										
医師増	.234**	-.147**	.287**	.024	-.017	.287**	1.000	.068**	.531**	.297**	.150**
	Correlation Coefficient	.000	.000	.000	.497	.631	.000	.010	.000	.000	.000
	Sig. (2-tailed)										
タイムシェア	.201**	.290**	-.044	-.400**	-.040	-.053	.089**	1.000	.024	.030	.350**
	Correlation Coefficient	.000	.000	.205	.000	.248	.131	.010	.499	.396	.000
	Sig. (2-tailed)										
研修制度	.008	-.475**	.317**	-.394**	.014	.300**	.531**	.024	1.000	.728**	.392**
	Correlation Coefficient	.821	.000	.000	.000	.681	.000	.000	.499	.000	.000
	Sig. (2-tailed)										
IC軽減	-.148**	-.229**	.192**	-.156**	-.258**	.064	.297**	.030	.728**	1.000	.142**
	Correlation Coefficient	.000	.000	.000	.000	.067	.000	.396	.000	.000	.000
	Sig. (2-tailed)										
IT軽減	.239**	-.180**	.189**	-.477**	.538**	.693**	.150**	.350**	.392**	.142**	1.000
	Correlation Coefficient	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000	.000
	Sig. (2-tailed)										

** Correlation is significant at the 0.01 level (2-tailed).
 * Correlation is significant at the 0.05 level (2-tailed).
 a. Listwise N = 818

強い正の相関があるのは、「DPCと臨床研修病院」、「病棟クラークとITの導入」、「医師増と研修制度」、「IC軽減と研修制度」である。反対に負の相関があるのは、「病棟クラークと7対1看護」、「研修制度と7対1看護」、「訴訟とIT導入」などである。

5-1. DPC導入

DPCが導入された病院では、医師以外実施可能な業務を医師がやっていると考えている割合が多い。

DPC * Q17 Crosstabulation

			Q17						Total
			1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	
DPC	1.00	Count	30	55	137	307	222	45	796
		% within DPC	3.8%	6.9%	17.2%	38.6%	27.9%	5.7%	100.0%
	2.00	Count	6	9	23	48	30	5	121
		% within DPC	5.0%	7.4%	19.0%	39.7%	24.8%	4.1%	100.0%
Total		Count	36	64	160	355	252	50	917
		% within DPC	3.9%	7.0%	17.4%	38.7%	27.5%	5.5%	100.0%

紹介状の作成を負担と感じている人が多い。

DPC * 紹介状 Crosstabulation

			D15B11			Total
			1.00	2.00	3.00	
DPC	1.00	Count	97	355	284	736
		% within DPC	13.2%	48.2%	38.6%	100.0%
	2.00	Count	8	49	57	114
		% within DPC	7.0%	43.0%	50.0%	100.0%
Total		Count	105	404	341	850
		% within DPC	12.4%	47.5%	40.1%	100.0%

DPC が導入された病院においては、医療の IT 化が好意的に捉えられており、IT 化で効率化したと考える医師が多い。

DPC * Q27_1 Crosstabulation

			Q27_1		Total
			.00	1.00	
DPC	1.00	Count	486	324	810
		% within DPC	60.0%	40.0%	100.0%
	2.00	Count	91	33	124
		% within DPC	73.4%	26.6%	100.0%
Total		Count	577	357	934
		% within DPC	61.8%	38.2%	100.0%

5 - 2. 7 対 1 看護導入

負担感に関しては、7 対 1 看護を導入した病院の方が全体的に高い傾向にある。特に、指示だしやカルテ記載の負担感が高い。

KANGO71 * カルテ記載 Crosstabulation

			D15B10			Total
			1.00	2.00	3.00	
KANGO71	1.00	Count	53	205	272	530
		% within KANGO71	10.0%	38.7%	51.3%	100.0%
	2.00	Count	18	125	175	318
		% within KANGO71	5.7%	39.3%	55.0%	100.0%
Total		Count	71	330	447	848
		% within KANGO71	8.4%	38.9%	52.7%	100.0%

看護師の業務量に関しては、7 対 1 看護の導入病院では、増加していると考えている人が少なくなっている。

KANGO71 * Q24 Crosstabulation

			Q24			Total
			1.00	2.00	3.00	
KANGO71	1.00	Count	356	156	40	552
		% within KANGO71	64.5%	28.3%	7.2%	100.0%
	2.00	Count	257	75	19	351
		% within KANGO71	73.2%	21.4%	5.4%	100.0%
Total		Count	613	231	59	903
		% within KANGO71	67.9%	25.6%	6.5%	100.0%

7 対 1 看護導入病院においては、負担増の原因を臨床研修制度と考えている人が多い。

KANGO71 * Q294 Crosstabulation

			Q294						Total
			1.00	2.00	3.00	4.00	5.00	6.00	
KANGO71	1.00	Count	103	97	64	78	141	11	494
		% within KANGO71	20.9%	19.6%	13.0%	15.8%	28.5%	2.2%	100.0%
	2.00	Count	36	44	44	74	89	18	305
		% within KANGO71	11.8%	14.4%	14.4%	24.3%	29.2%	5.9%	100.0%
Total		Count	139	141	108	152	230	29	799
		% within KANGO71	17.4%	17.6%	13.5%	19.0%	28.8%	3.6%	100.0%

5-3. 臨床研修病院

臨床研修病院では、伝票、診断書、紹介状、私的保険書類などの書類関連の業務において、負担感が大きくなっている。

臨床研修 * 紹介状 Crosstabulation

			D15B11			Total
			1.00	2.00	3.00	
臨床 研修	1.00	Count	82	282	235	599
		% within 臨床研修	13.7%	47.1%	39.2%	100.0%
	2.00	Count	13	86	94	193
		% within 臨床研修	6.7%	44.6%	48.7%	100.0%
Total	Count	95	368	329	792	
	% within 臨床研修	12.0%	46.5%	41.5%	100.0%	

教育への負担感はそれほど大きくはなっていない。

負担増の原因として、新臨床研修制度をあげる医師は、臨床研修病院においては少ない。

臨床研修 * 新臨床研修制度 Crosstabulation

			Q294					Total	
			1.00	2.00	3.00	4.00	5.00		6.00
臨床 研修	1.00	Count	97	101	79	108	165	23	573
		% within 臨床研修	16.9%	17.6%	13.8%	18.8%	28.8%	4.0%	100.0%
	2.00	Count	35	34	21	27	55	3	175
		% within 臨床研修	20.0%	19.4%	12.0%	15.4%	31.4%	1.7%	100.0%
Total	Count	132	135	100	135	220	26	748	
	% within 臨床研修	17.6%	18.0%	13.4%	18.0%	29.4%	3.5%	100.0%	

5-4. 訴訟

訴訟を抱えている病院では、患者・家族への説明や IC 手続きといった患者対策に対する業務の負担感が相対的に強くなっている。

訴訟 * 患者・家族への説明 Crosstabulation

			D15B5			Total
			1.00	2.00	3.00	
訴訟	1.00	Count	58	190	216	464
		% within 訴訟	12.5%	40.9%	46.6%	100.0%
	2.00	Count	28	160	200	388
		% within 訴訟	7.2%	41.2%	51.5%	100.0%
Total	Count	86	350	416	852	
	% within 訴訟	10.1%	41.1%	48.8%	100.0%	

訴訟 * IC手続き Crosstabulation

			D15B6			Total
			1.00	2.00	3.00	
訴訟	1.00	Count	63	195	202	460
		% within 訴訟	13.7%	42.4%	43.9%	100.0%
	2.00	Count	36	169	182	387
		% within 訴訟	9.3%	43.7%	47.0%	100.0%
Total	Count	99	364	384	847	
	% within 訴訟	11.7%	43.0%	45.3%	100.0%	

訴訟が起きている病院では、負担が重くなっていると感じている人の割合が少ない。訴訟の影響で患者数が減少している可能性もある。

訴訟 * Q19 Crosstabulation

			Q19				Total
			1.00	2.00	3.00	4.00	
訴訟	1.00	Count	50	144	27	270	491
		% within 訴訟	10.2%	29.3%	5.5%	55.0%	100.0%
	2.00	Count	17	126	18	256	417
		% within 訴訟	4.1%	30.2%	4.3%	61.4%	100.0%
Total		Count	67	270	45	526	908
		% within 訴訟	7.4%	29.7%	5.0%	57.9%	100.0%

訴訟を抱える病院では、権限を委譲するほうが良いと考える医師が少ない。訴訟の影響で責任関係に敏感になっている可能性がある。

訴訟 * 権限委譲 Crosstabulation

			Q26			Total
			1.00	2.00	12.00	
訴訟	1.00	Count	318	157	1	476
		% within 訴訟	66.8%	33.0%	.2%	100.0%
	2.00	Count	287	116	0	403
		% within 訴訟	71.2%	28.8%	.0%	100.0%
Total		Count	605	273	1	879
		% within 訴訟	68.8%	31.1%	.1%	100.0%

訴訟を抱えている病院では、負担増の原因を事故であると考えている人が多い。

訴訟 * 事故 Crosstabulation

			Q291					Total	
			1.00	2.00	3.00	4.00	5.00		6.00
訴訟	1.00	Count	138	91	107	75	39	6	456
		% within 訴訟	30.3%	20.0%	23.5%	16.4%	8.6%	1.3%	100.0%
	2.00	Count	93	84	68	61	49	17	372
		% within 訴訟	25.0%	22.6%	18.3%	16.4%	13.2%	4.6%	100.0%
Total		Count	231	175	175	136	88	23	828
		% within 訴訟	27.9%	21.1%	21.1%	16.4%	10.6%	2.8%	100.0%

5-5. IT導入

IT導入病院では、全体的には負担感が減少している。

個別事項に関しては負担感が多いわけではないが、IT導入病院においては、医師が従事する必要がない仕事に従事している時間が長いと考えるものが多い。

IT導入 * Q17 Crosstabulation

			Q17					Total	
			1.00	2.00	3.00	4.00	5.00		6.00
IT導入	1.00	Count	21	44	104	237	182	40	628
		% within IT導入	3.3%	7.0%	16.6%	37.7%	29.0%	6.4%	100.0%
	2.00	Count	15	20	53	113	68	10	279
		% within IT導入	5.4%	7.2%	19.0%	40.5%	24.4%	3.6%	100.0%
Total		Count	36	64	157	350	250	50	907
		% within IT導入	4.0%	7.1%	17.3%	38.6%	27.6%	5.5%	100.0%

IT導入 * Q19 Crosstabulation

			Q19				Total
			1.00	2.00	3.00	4.00	
IT導入	1.00	Count	41	211	26	354	632
		% within IT導入	6.5%	33.4%	4.1%	56.0%	100.0%
	2.00	Count	26	59	19	172	276
		% within IT導入	9.4%	21.4%	6.9%	62.3%	100.0%
Total		Count	67	270	45	526	908
		% within IT導入	7.4%	29.7%	5.0%	57.9%	100.0%

IT導入が効率化につながるかということに関しては、非導入病院とそれほど変わらない。

IT導入 * 効率化 Crosstabulation

			Q27 1		Total
			.00	1.00	
IT導入	1.00	Count	393	247	640
		% within IT導入	61.4%	38.6%	100.0%
	2.00	Count	179	105	284
		% within IT導入	63.0%	37.0%	100.0%
Total		Count	572	352	924
		% within IT導入	61.9%	38.1%	100.0%

IT導入で雑務が増えると言う意見も両グループではほぼ同じである。

5-6. 病棟クランク

医師の労働軽減のために病棟クランクを導入した病院での医師の負担感は、非導入病院と比べて低くなっていない。

病棟秘書 * Q19 Crosstabulation

			Q19				Total
			1.00	2.00	3.00	4.00	
病棟秘書	1.00	Count	26	144	13	242	425
		% within 病棟秘書	6.1%	33.9%	3.1%	56.9%	100.0%
	2.00	Count	39	120	32	267	458
		% within 病棟秘書	8.5%	26.2%	7.0%	58.3%	100.0%
Total		Count	65	264	45	509	883
		% within 病棟秘書	7.4%	29.9%	5.1%	57.6%	100.0%

但しこの結果は、非常に忙しい病院が病棟クランクを導入した可能性を否定できるものではない。そのための病院のアウトカムとの関連を検討する必要がある。

5-7. 医師定員数の増加

病棟クランクの導入病院と同様、医師定員を増加させた病院で、必ずしも負担感が軽減していない。この理由は病棟クランクと同様であると考えられる。